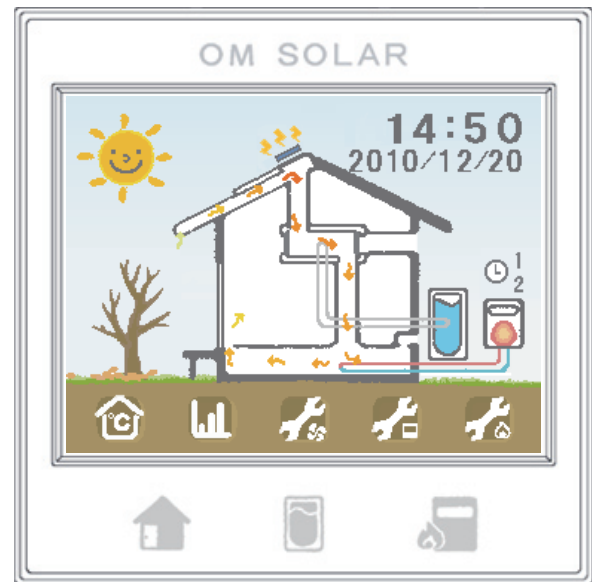
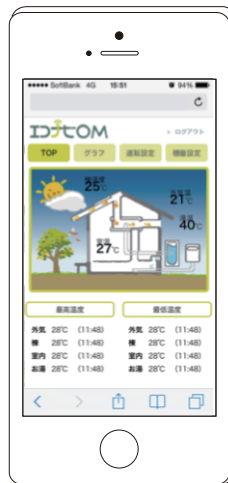


OM SOLAR SYSTEM

タッチパネルリモコン 操作説明書



⚠ 使用上の注意

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。
読み終わったら本書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管してください。



禁止

おこなってはいけない内容を告げるマークです。



感電

感電の恐れのある内容を告げるマークです。



分解禁止

分解してはいけない内容を告げるマークです。



注意

機器に損傷をあたえる恐れのあることを告げるマークです。

	<p>濡れた手でリモコンの操作をしないでください。感電、故障の恐れがあります。</p>		<p>小さなお子様には、一人で触らせないように注意してください。誤作動による事故や故障の原因となる恐れがあります。</p>
	<p>洗剤やシンナーでリモコンを清掃しないでください。塗装面の劣化や感電、故障等の恐れがあります。清掃は、乾いた布等で拭きとる程度としてください。</p>		<p>塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。</p>
	<p>お客様自身では、分解、修理、改造はしないでください。ショート、感電、誤作動の恐れがあります。</p>		<p>油煙や湯気をあてないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。</p>
	<p>水をかけたり、物や体をぶつけないでください。故障、火災の原因になります。</p>		<p>冬季に季節モードを「夏」にしないでください。凍結によりお湯採りコイルが破損する恐れがあります。</p>
	<p>とがったものや硬いもので操作しないでください。穴が開いて故障の原因になります。</p>		

目次

3	使用上の注意
6	OMソーラーのしくみ
8	タッチパネルリモコンの機能と名称
9	画面切替一覧
11	第1章 絵や温度で見る
15	第2章 グラフや数値で見る
19	第3章 各種運転設定
25	第4章 リモコンの設定
29	第5章 暖房・循環の設定
33	第6章 操作手順例
39	第7章 エラー表示について
43	第8章 Web(エコナビOM)による操作
46	故障かな?と思ったら
47	基本仕様

OMソーラーのしくみ

OMソーラーは、下記のような部位で構成されています。（設計によっては異なる場合があります。）

ガラス付き集熱面

ガラスなし集熱面を通してきた空気をさらに温めます。

太陽電池

晴れた日に、ハンドリングへ太陽光発電より電気を供給します。

ガラスなし集熱面

取り入れた空気を太陽熱によって温めます。

集熱空気層

取り入れた外気がこの部分を通ることで温められます。

外気取り入れ口

外気の入口です。

室内循環口

室内空気の入口です。

ハンドリングボックス

OMソーラーの心臓部。
空気流れの切り替えや、送風をします。

タッチパネルリモコン

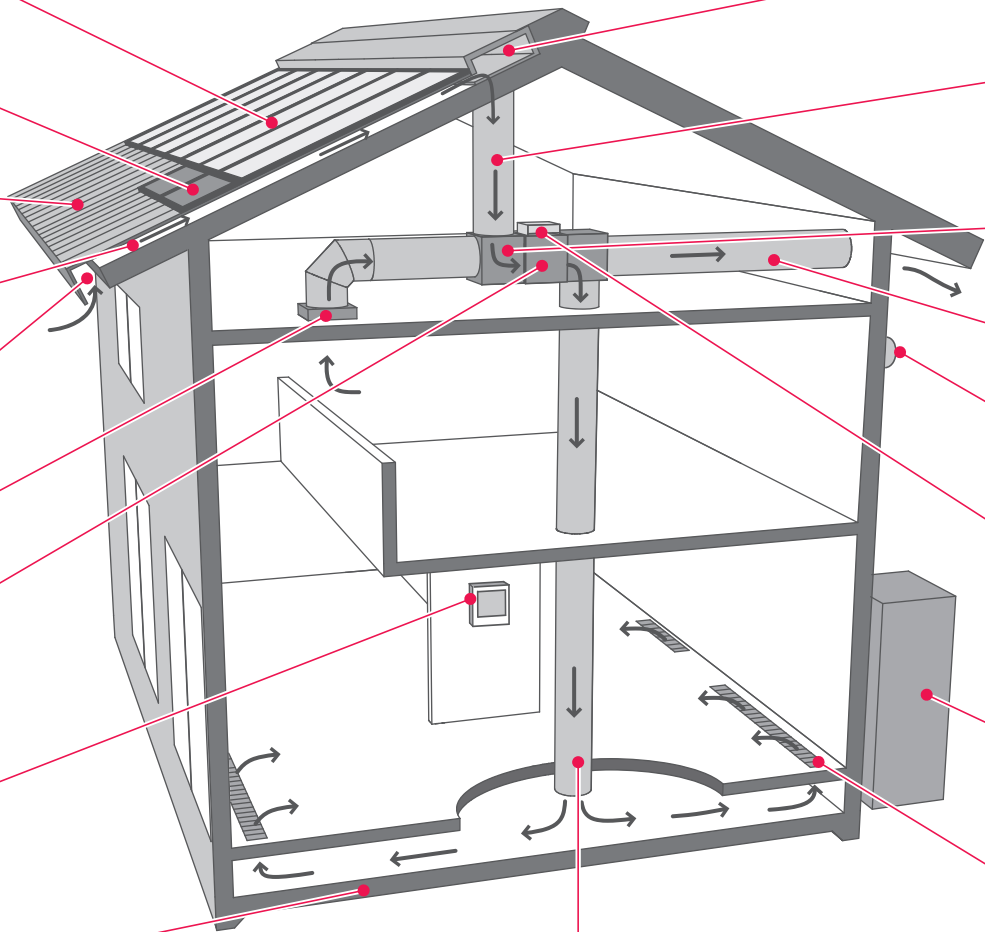
OMソーラーの運転の表示や操作をします。室温センサーが内蔵されています。

蓄熱コンクリート

昼に床下へ送られた熱を蓄えて、夜は自然に放熱します。

立ち下がりダクト

空気を床下へ送るときの経路です。



※このイラストはモデル図であり、各部位の配置は実際には異なります。

棟ダクト

集熱面の空気を集めてハンドリングボックスに運びます。

お湯採り用高温センサー

集熱空気と貯湯槽内の水の温度差を測り、貯湯槽に伝えます。※製品によって異なります。

入口温度センサー(棟温)

集熱した空気温度を制御ユニットに伝えます。

排気ダクト

空気を室外へ排気するときの経路です。

外気温センサー

屋外の空気温度を制御ユニットに伝えます。

制御ユニット

リモコンや温度センサーからの信号を受けてハンドリングボックスを動かします。

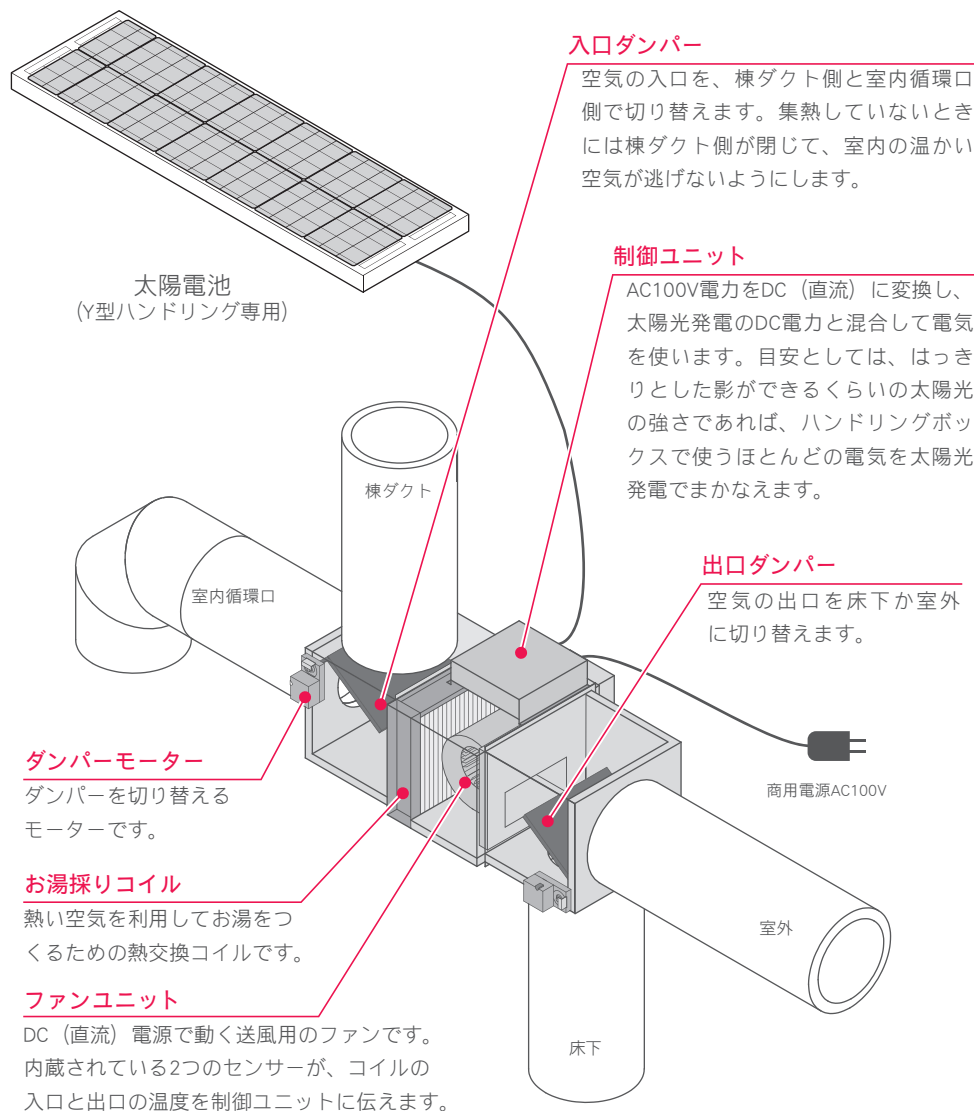
貯湯槽

お湯採りしたお湯を貯めておくタンクです。

床吹き出し口

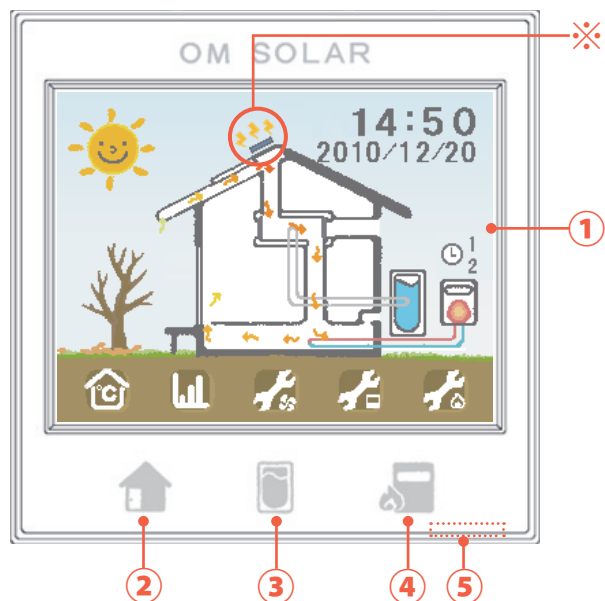
床下に送られた空気の出口です。

ハンドリングボックスのしくみ



タッチパネルリモコンの機能と名称

タッチパネルリモコンはOMソーラーの運転を表示および操作する機器です。
各部の名称と機能を紹介します。



ランプの色はイメージです。

白が赤みのある白色になるなど、製品によって色味が異なる場合があります。

- Y型ハンドリングは、太陽電池で動くタイプと商用電力で動くタイプの2種類があります。
画面の太陽電池が点灯※しているときは、太陽電池で動いています（日照量が少ないときなどは、一部商用電力で動きます）。

① 液晶タッチパネルモニター

画面の切り替えや各種設定を、本画面に触れて操作します。

② OMソーラー運転ランプ

OMソーラーの運転パターンにあわせて、色が変化します（運転パターンとランプ色については、p13をご覧ください）。

また、エラー発生時には、赤色点滅します（**OM停止** を押し、ハンドリングボックスが強制停止している際は、黄色点滅します）。



③ お湯採りランプ

お湯採り運転を行った日はランプが点灯し、温度にあわせて色が変化します。ランプは21:00に消灯します。



湯温 —— 20℃ —— 30℃ —— 40℃ ——

※貯湯槽にセンサーを設置していない場合は、湯温に関わらず黄色のみ点灯です。

※貯湯槽を設置していない場合は、点灯しません。

④ 補助暖房ランプ

制御ユニットと連動している温水暖房が運転を行っているときに、ランプが赤色点灯します。

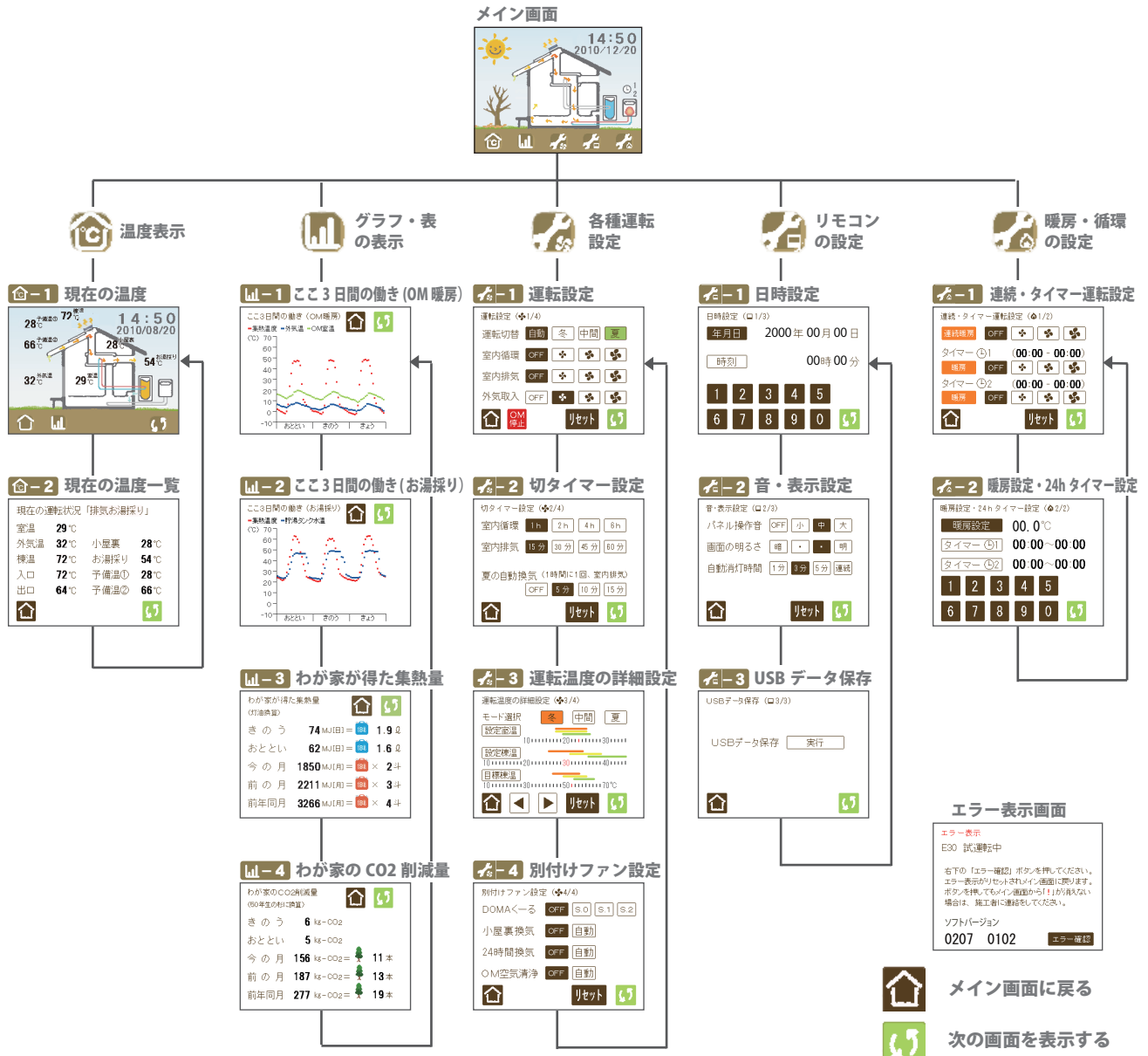


※補助暖房を設置していない場合は、点灯しません。

⑤ USBメモリ差込口

USBメモリを差込むことで、リモコン内に蓄積されたデータを取り出すことができます（詳しい操作は、p27、p28をご覧ください）。

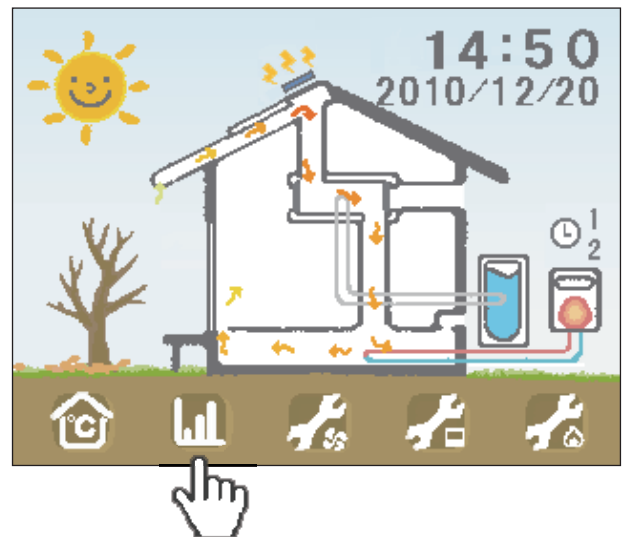
画面切替一覧



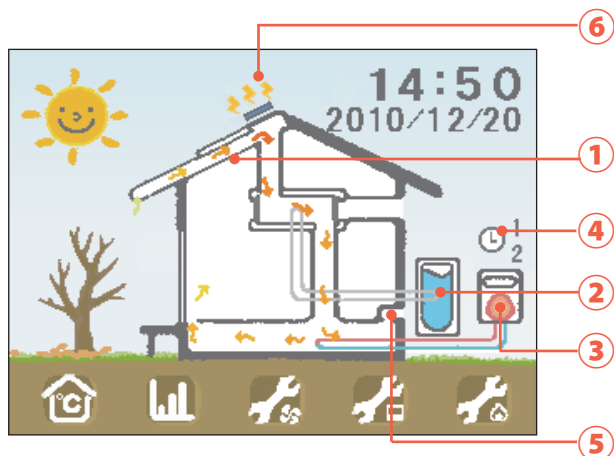
第1章

絵や温度で見る

OMソーラーの動き



🏠 メイン画面



操作ボタンと移動先



現在の温度



ここ3日間の働き (OM 暖房)



運転設定



日時設定



連続・タイマー運転設定

① **OM 空気流れ**
アニメーションで OM ソーラーの空気流れを表示します (動きのパターンは次ページをご覧ください。)

② **お湯採り**
運転や温度によって色が変わります。



配管 お湯採り運転時は赤と青になります。

③ **補助暖房用ボイラー**
制御ユニットと連動している温水暖房が運転しているときに色がつきます (運転していないときは、配管がグレーになります)。



④ **暖房・循環運転タイマー**
暖房や循環のタイマー設定を ON にしたときに表示されます。

⑤ **DOMA くーる**
アニメーションで DOMA くーるの運転を表示します。

⑥ **自立運転マーク**
太陽電池でハンドリングボックスを動かしている場合に表示されます。

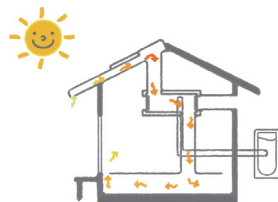


②③⑤⑥は、設備が設置されている場合に限り表示します。設置されていない場合は表示されません。

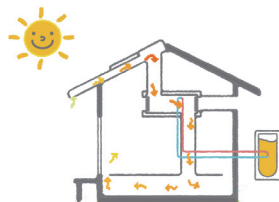
OMソーラーの運転パターン

OMソーラーの運転パターンには、主に下記の種類があります。
 アニメーションやランプの表示で、運転パターンを見分けることができます。
 (記載されているランプの色はイメージです。ランプはLEDの個体差によって色味が異なる場合があります。)

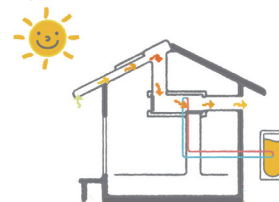
集熱取り込み



集熱お湯採り



排気お湯採り



※¹ お湯採りランプの色はp8をご覧ください。

室内循環



※OM空気清浄での
 運転時は緑色で点
 灯します。

室内排気



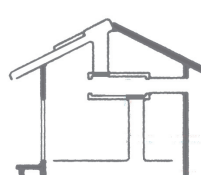
外気取り入れ (夏の夜間)



全閉停止



換気停止

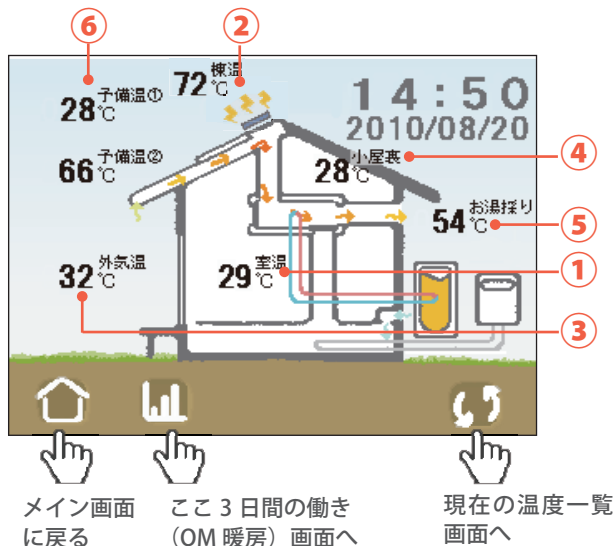


強制停止



※OM停止ボタンを押
 すと黄色点滅で全閉
 停止になります。

🏠-1 現在の温度



この画面では、各部の温度が表示されます。

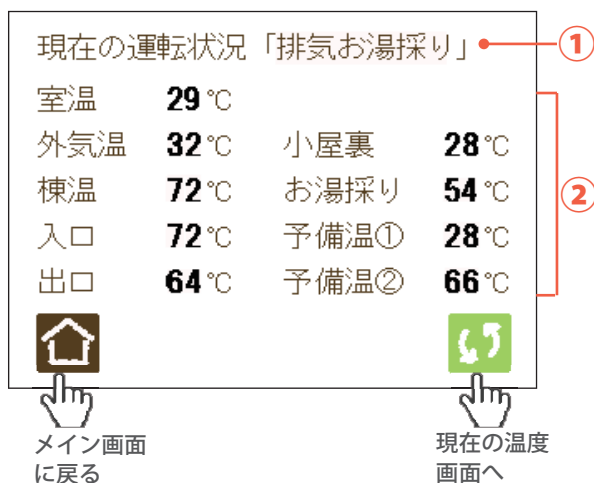
① 室内温度	室内の温度を計測します。
② 棟温度	入口の温度を計測します。
③ 外気温度	外の温度を計測します。
④ 小屋裏温度	小屋裏の温度を計測します。
⑤ お湯採り温度	貯湯槽のタンクの温度を計測します。
⑥ 予備温度① 予備温度②	センサーを設置した場所の温度を計測します（2ヶ所まで）。

④～⑥はオプションとなります。
オプションによるお湯採りや予備温度センサーを設置していない場合、室内循環、室内排気、停止時はハンドリングボックスの温度が表示されます。

📝 ノート

温度表示範囲は -50℃～120℃までです。
(室内温度は -50℃～60℃)

🏠-2 現在の温度一覧



この画面では、現在の運転状況と温度の一覧を表示させます。

① 現在の運転状況	現在の運転状況（運転パターン p13）を表示します。
② 温度一覧	現在の温度状況を一覧で表示します。

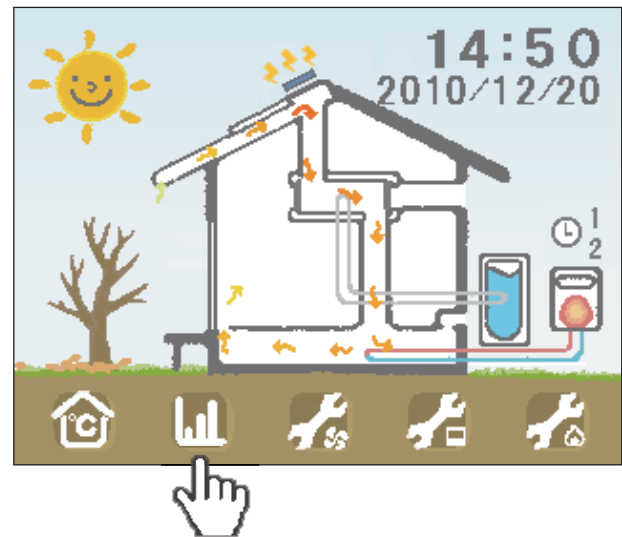
📝 ノート

温度表示範囲は -50℃～120℃までです。
(室内温度は -50℃～60℃)

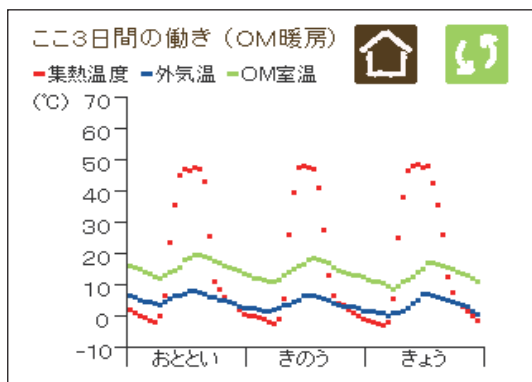
第2章

グラフや数値で見る

OMソーラーの動き



1-1 ここ3日間の働き (OM 暖房)



メイン画面
に戻る



ここ3日間の働き
(お湯採り) 画面へ

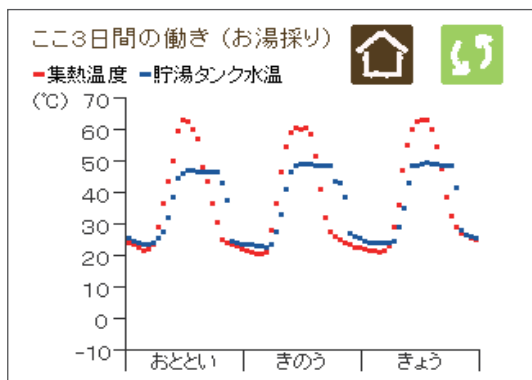
各温度の時間単位の温度をグラフで表示します。

- (赤) 集熱温度
- (青) 外気温
- (緑) OM 室温

✎ ノート

- ・【きょう】のデータは、今現在までのデータです。
- ・制御ユニットのコンセントプラグを抜いたり、停電等により電源供給が途絶えると、グラフは消去されます。

1-2 ここ3日間の働き (お湯採り)



メイン画面
に戻る



わが家を得た集熱量
画面へ








OMソーラーによるお湯採りの働きをグラフで表示します。


- (赤) 集熱温度
- (青) 貯湯タンク水温


✎ ノート

- ・【きょう】のデータは、今現在までのデータです。
- ・貯湯槽にセンサーを設置していない場合や、OMソーラーと連動しない貯湯槽を設置している場合は表示されません。
- ・制御ユニットのコンセントプラグを抜いたり、停電等により電源供給が途絶えると、グラフは消去されます。
- ・貯湯タンク水温は、お湯採り温度を表します。

㊦-3 わが家が得た集熱量

わが家が得た集熱量 (灯油換算)		
きのう	74 MJ[日] =  1.9 ㊦	
おととい	62 MJ[日] =  1.6 ㊦	
今月	1850 MJ[月] =  × 2 斗	
前月	2211 MJ[月] =  × 3 斗	
前年同月	3266 MJ[月] =  × 4 斗	

 メイン画面に
戻る

 わが家のCO2削減量
画面へ


OMソーラーで得た集熱量(暖房とお湯採り)を灯油換算して表示します。


- 灯油 1 ㊦ = 37.255 MJ (メガジュール)
- 灯油 1 斗 = 18 ㊦

 ノート

【今月】の集計は、その月の1日から昨日までの集計です。

㊦-4 わが家のCO2削減量

わが家のCO2削減量 (50年生の杉に換算)		
きのう	6 kg-CO ₂	
おととい	5 kg-CO ₂	
今月	156 kg-CO ₂ =  11 本	
前月	187 kg-CO ₂ =  13 本	
前年同月	277 kg-CO ₂ =  19 本	

 メイン画面に
戻る

 「ここ3日間の働き
(OM暖房)」画面へ

OMソーラー(暖房とお湯採り)によって削減されたCO₂量を表示します。また、CO₂削減量を、50年生のスギの木に換算して表示します。

- CO₂削減量 (kg-CO₂) = 0.08482 kg-CO₂/MJ
- 50年生のスギ1本が1年間に吸収するCO₂の量
= 13.9 kg-CO₂/年

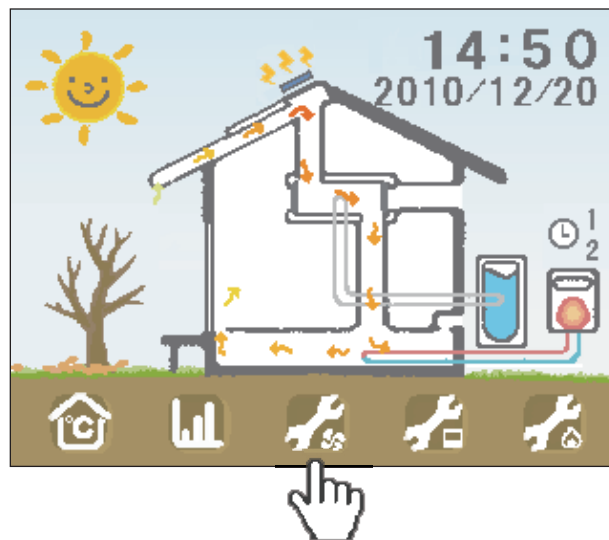
 ノート

【今月】の集計は、その月の1日から昨日までの集計です。

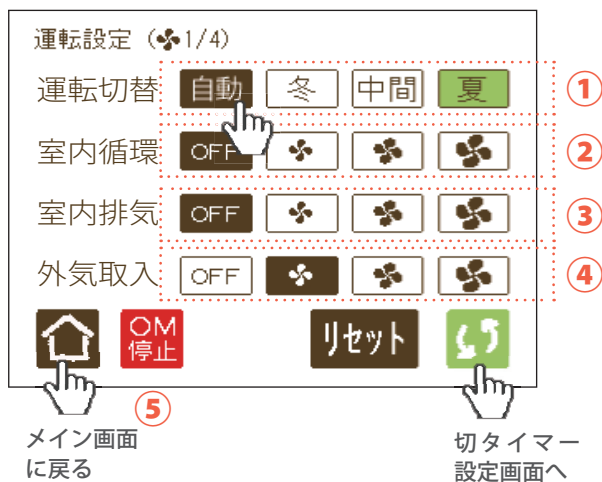
第3章

各種運転設定

リモコンを操作する



7-1 運転設定



リセット

初期設定に戻します。

運転切替：自動・中間

室内循環：OFF

室内排気：OFF

外気取入：弱

ノート

- お好みに合わせ、手動で設定を変更することができます。「自動運転」のまま [冬] [中間] [夏] を押すと、その日に限り選択した季節モードで動きます。翌日はまた自動判別が行われます。

この画面では、運転状況の設定を変更できます。

① 運転切替 (冬/中間/夏)

運転には、「自動運転」と「手動運転」の2種類があります。「手動運転」をする場合は、[自動] を押して表示を [手動] に切り替えてから、[冬] [中間] [夏] でモードを選択します。

② 室内循環 (風量設定：切/弱/中/強)

室内の空気を一定時間循環するファンの速度を設定します。

用途例

- ストープなどで高いところにたまった暖気を循環させる
- 少数の冷暖房機器の空気を家全体に回す

③ 室内排気 (風量設定：切/弱/中/強)

室内の空気を一定時間排気するファンの速度を設定します。

ノート

【室内循環】と【室内排気】は、運転パターン (p13) の「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」「室内循環」をしていないときに利用できます。

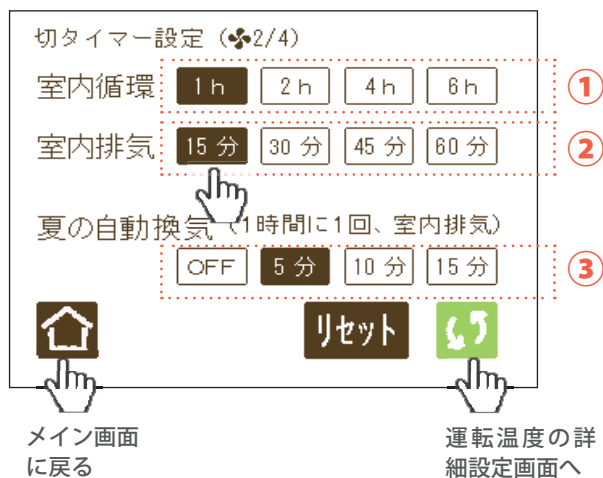
④ 外気取入 (風量設定：切/弱/中/強)

夏の夜、室温よりも外気温の方が涼しくなったときに、外気を取り込みます。

⑤ OM 停止 (緊急時の強制停止)

緊急の場合などに、OM ソーラーの動きを強制的に運転パターン (p13) の「全閉停止」の状態にします。ボタン表示は「再起動」に変わります。ハンドリングボックスを動かす場合は [再起動] を押してください。

🔧-2 切タイマー設定



リセット

初期設定に戻します。

室内循環：1 h (1時間)

室内排気：15分

夏の自動換気：5分

この画面では、🔧-1 「運転設定」の稼働時間を設定します。

① 室内循環

室内の空気を循環させる時間を設定します。

設定時間 (1 h 2 h 4 h 6 h) の中から選択できます。

📝 ノート

時刻タイマーで設定する場合は、🔧-1 「連続・タイマー運転」で行います (詳しい操作は、p30 をご覧ください)。

② 室内排気

室内の空気を排気させる時間を設定します。

設定時間 (15分 30分 45分 60分) の中から選択できます。

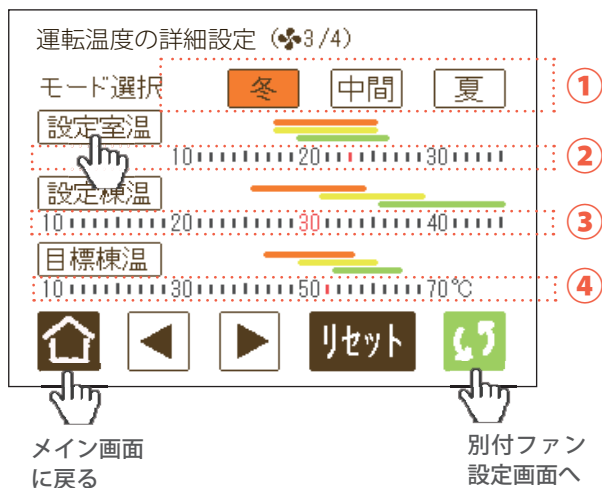
③ 夏の自動換気

季節モードが「夏」のときは、運転パターン (p13) の「排気お湯採り」運転中に、1時間に1回【室内排気】運転を行います。運転時間の設定は、OFF 5分 10分 15分 の中から選択できます。

📝 ノート

- 棟温度が 80°C を超えるときは運転しません。
- 運転中に棟温度が 100°C を超えると設定時間の途中でも運転を終了します。
- 運転風量は、「中」で一定です。

④-3 運転温度の詳細設定



メイン画面
に戻る

別付ファン
設定画面へ

リセット

初期設定に戻します。

設定室温

「冬」「中間」「夏」ともに 23℃

設定棟温

「冬」 30℃ / 「中間」 35℃ / 「夏」 40℃

目標棟温

「冬」 50℃ / 「中間」 54℃ / 「夏」 64℃

ノート

- ・ 季節モード（冬／中間／夏）における参考設定温度範囲を下記色で示しています。

オレンジ：冬モードの参考設定温度範囲

黄色：中間モードの参考設定温度範囲

黄緑：夏モードの参考設定温度範囲

この画面で、運転温度の詳細な設定ができます。

※季節に関係なく、最初の画面は冬モードの設定画面が表示されます。

① モード選択

季節モード を選択すると、各モードで設定されている温度が表示されます。

② 設定室温

OMソーラーの運転が切り替わるときの基準となる室温です。季節モードごとに 10～35℃の範囲で設定できます（温度目盛 1℃）。

③ 設定棟温

OMソーラーの運転が始まるときの基準となる棟温です。季節モードごとに 10～45℃の範囲で設定できます（温度目盛 1℃）。

④ 目標棟温

OMソーラーの運転風量の基準となる棟温です。「目標棟温」に向け風量が変わります。季節モードごとに 10～70℃の範囲で設定できます（温度目盛 2℃）。「目標棟温」を上げると風量は緩やかになります。

操作手順

1. 変更したい季節モード を押して選択します。
2. 変更したい温度項目（ ）から選択して反転表示させます。
3. 温度目盛（**|**：赤色）を変更したい温度の位置へ動かします。
 で温度が下がり、 で温度が上がります。
4. もう一度、温度項目（ ）を押し、反転を解除すると設定完了です。

運転パターンと温度

季節モードと運転パターン(p13)をまとめた表です。例えば、冬モードの時、「設定室温」を23℃にすると室温22℃以下までは「集熱取り込み」をします。室温23℃以上になった時に「集熱お湯採り」に運転が切り替わります。

運転パターン (運転状況)	設定室温	OMソーラー 運転開始条件	自動運転の 季節判断
季節モード			
冬	室温22℃以下は「集熱取り込み」 	室温23℃以上で「集熱お湯採り」 室温26℃以上で「排気お湯採り」 設定温度 +3℃ 	※1 棟温30℃以上(初期値) 朝5時における外気温が13℃以下
中間	室温12℃以下は「集熱取り込み」 設定室温 -10℃ 室温22℃以下は「集熱お湯採り」 	室温23℃以上で「排気お湯採り」 	※1 棟温35℃以上(初期値) 朝5時における外気温が14℃～20℃
夏	昼 室温12℃以下は「集熱お湯採り」 設定室温 -10℃ 室温13℃以上は「排気お湯採り」 「自動換気」1時間に1回、「室内排気」※3 	※1 棟温40℃以上(初期値)	朝5時における外気温が21℃以上
	夜 室温22℃以下は「全閉停止」・「換気停止」 	室温23℃以上で「外気取り入れ」 	

※1 集熱温度を計測するため、定刻になると「集熱取り込み」運転（8:30～11:00の間は30分に1回、11:00～17:00の間は1時間に1回）をします。その際、暖かい空気や冷たい空気が室内に入る事があります。

ただし、集熱運転中には、集熱温度を計測するための「集熱取り込み」運転は行われません。

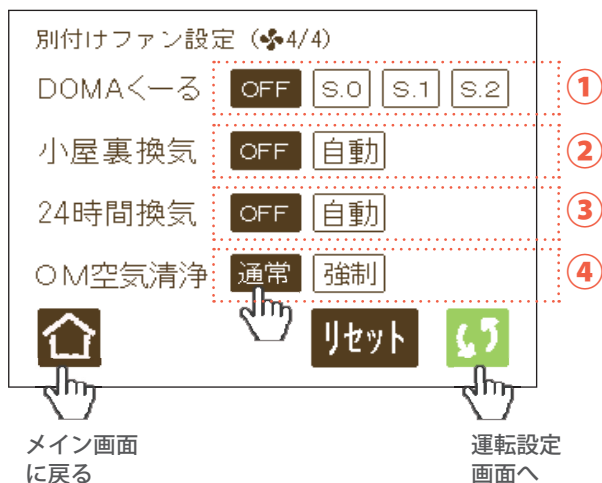
※2 外気取り入れ時間帯は20:00～5:00です。

※3 「排気お湯採り」運転中に1時間に1回、「室内排気」運転をします。設定時間は「切タイマー設定」画面(p21)で設定します。

ノート

- ・ファン停止時およびOM停止（緊急時の強制停止）にした場合は、「全閉停止」になります。
- ・季節モードが中間および夏の場合、「全閉停止（初期値）」から「換気停止」に変更する事が可能です。詳しくは、施工工務店までお問い合わせください。
- ・お湯採り信号出力状態でも、集熱空気の温度と貯湯槽内の水温の差が7～9℃以下の場合には貯湯槽は運転しません（貯湯槽の機種によって異なります）。
- ・天気が悪くなり棟温が開始温度以下になると稼働しません。

🔧-4 別付けファン設定



リセット

初期設定に戻します。

DOMA くーる：OFF
小屋裏換気：OFF
24 時間換気：OFF
OM 空気清浄：通常

この画面で、別付けファンの運転を設定します。
これらの機器はオプションです。機器を設置していない場合は設定の変更をしないでください。通常は、「OFF」および「通常」に固定してあります。

① DOMA くーる

DOMA くーるが OM ソーラーと連動します。

【S.0】・・・「排気お湯採り」時に稼働

【S.1】・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」時に稼働

【S.2】・・・「排気お湯採り」「換気停止」または「全閉停止」「外気取入」時に稼働

② 小屋裏換気

小屋裏温度が 40℃を超えると、制御ユニットと接続した小屋裏換気扇が稼働します。

③ 24 時間換気

OM ソーラーと連動して、24 時間換気をします。「排気お湯採り」、「室内循環」、「換気停止」または「全閉停止時」に稼働します。

④ OM 空気清浄

空気清浄機「OM エアフォール」を設置した運転パターンです。

「通常」・・・「循環運転」・「取入運転」時に空気清浄

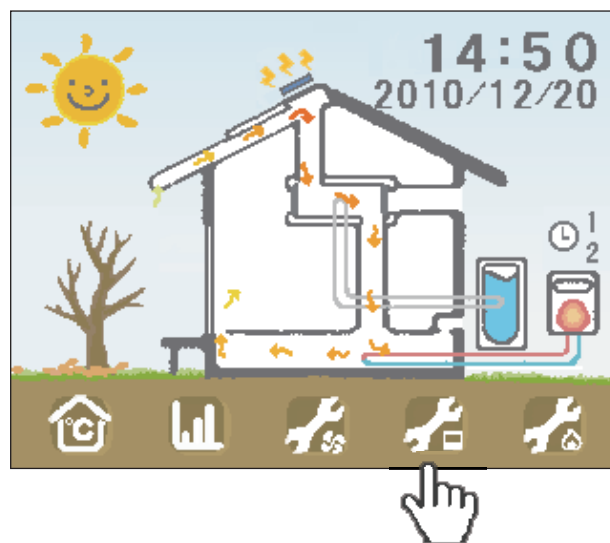
「強制」・・・夜間 OM 運転モードが「停止」になる場合でも強制的に「循環運転」にて空気清浄

※雨の日等、日中 OM ソーラーが動いていない場合や時間を指定して OM 空気清浄を動かしたい場合は、「通常」にしてから 🔧-1 「連続・タイマー運転設定」の「循環」を選択し、時間を設定してください（ただし、「排気お湯採り」時は OM 空気清浄できません）。

第4章

リモコンの設定

リモコンを操作する



🔧-1 日時設定



この画面では、日時の設定をします。

① 年月日

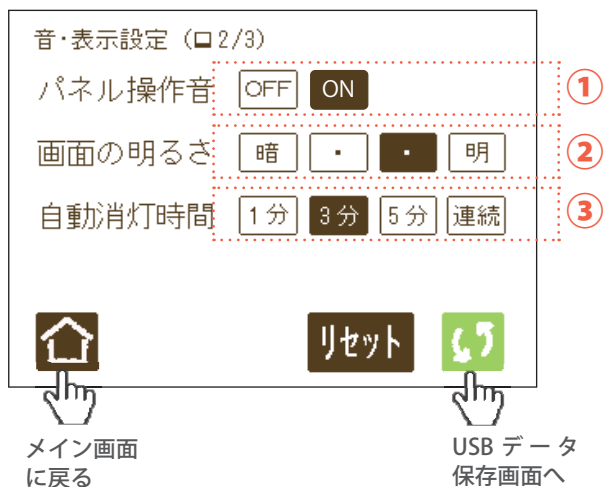
操作手順

1. **年月日** を押します (文字が反転します)。
2. 変更する数字の下にカーソルが表示されます。
3. **数字キー** で数字を打ち込みます。
👉 でカーソルを右移動させることができます。
4. もう一度 **年月日** を押します (反転が解除され、設定完了です)。

② 時刻

- ① **年月日** 設定と同じ操作手順で設定できます。

🔧-2 音・表示設定



この画面では、【パネル操作音】、【画面の明るさ】、リモコン画面の【自動消灯時間】の設定をします。

① パネル操作音

タッチパネルの操作部分に触れた時に鳴る音の ON、OFF を設定します。

② 画面の明るさ

タッチパネルの明るさを設定します (4 段階)。

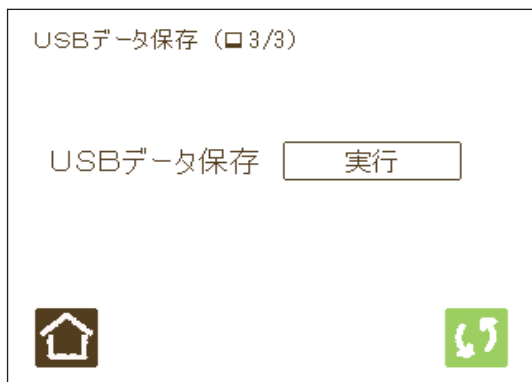
③ 自動消灯時間

操作後タッチパネルが自動的に消えるまでの時間を設定します。

リセット 初期設定に戻します。

パネル操作音：ON
画面の明るさ：(明)
自動消灯時間：3分

🔑-3 USB データ保存



この画面では、リモコン内に保存されている温度データ等を USB メモリに保存することができます。

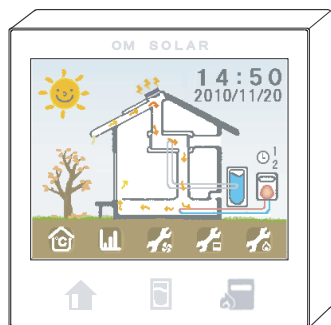
USB メモリについて

データ保存には、USB メモリが必要になります。

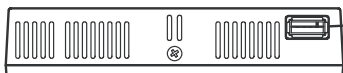
USB メモリの使用環境によっては、データ保存ができない場合があります。

USB メモリ使用環境

- USB2.0
 - FAT16/FAT32 (ファイル形式)
 - メモリ容量 32GB 以下
 - セキュリティ機能等のアプリケーションなし
- ※ファイル形式が異なったり、メモリ容量が大きい場合は、書き込みできません。

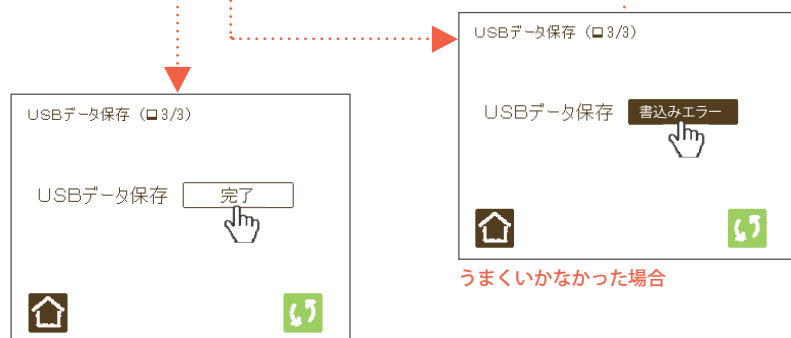
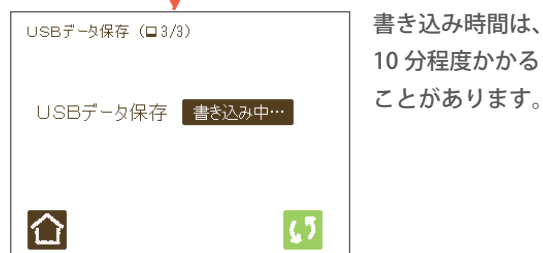


USBメモリ



USB

③-3 USB データ保存



書き込み完了。完了を押してから、USBメモリをリモコンから取り外します。

操作手順

1. この画面を表示させます。
2. USBメモリをリモコン下部の差込口に差し込んでください。
3. **実行**を押すとUSBメモリへの書き込みが始まります。
4. USBメモリへの書き込みが完了したら、**完了**を押します。
5. USBメモリをリモコンから取り外します。

ノート

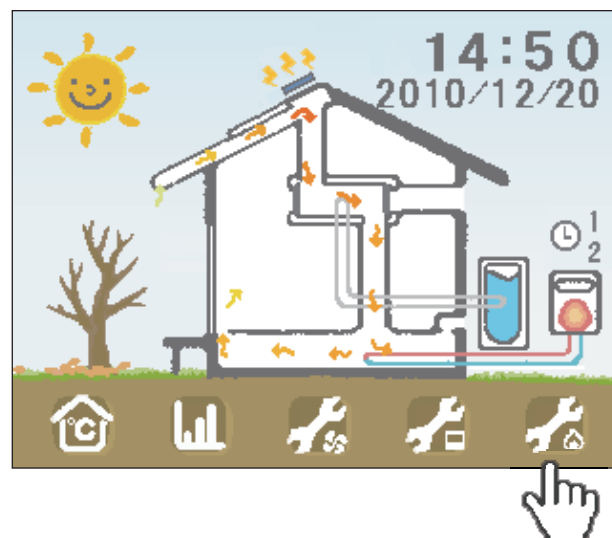
- リモコン内には、1年間のデータが保存されます。リモコン内のデータは上書きされますので、それまでの間にUSBメモリにデータを取り出してください。
- データ1年間分は約3MBありますが、USBメモリの空き容量に注意してください。
- ファイル名は、日付.csvとなります(例:2010年1月1日の場合、20100101.csv)。同一ファイル名のファイルがUSBメモリ上にあると、上書きされますのでご注意ください。

うまくUSBメモリに書き込みができなかった場合、**書き込みエラー**が表示されます。**書き込みエラー**を押してから、再度USBメモリを挿しなおして**実行**を押してください。

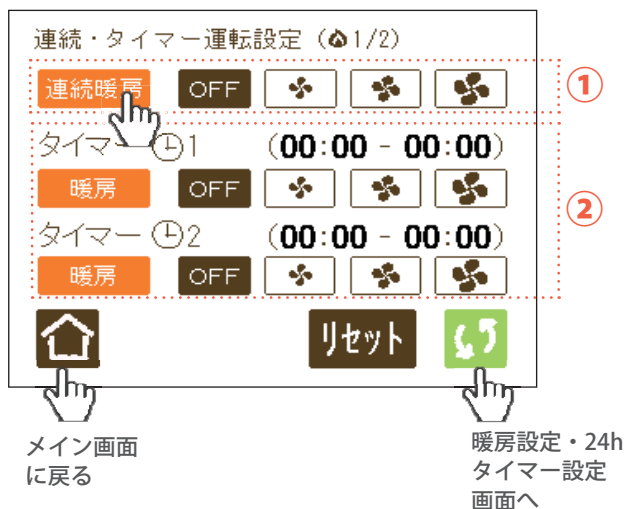
第5章

暖房・循環の設定

リモコンを操作する



🔧-1 連続・タイマー運転設定



リセット

初期設定に戻します。

連続暖房／連続循環：OFF

タイマー 1：OFF

タイマー 2：OFF

この画面では、補助暖房または循環運転の設定をします。

① 連続暖房／連続循環

「連続暖房」は、ハンドリングボックスのファンを動かして補助暖房を行います。補助暖房の設定温度よりも室温が低い時に暖房ボイラーが稼働します。

「連続循環」は、ハンドリングボックスのファンを動かして、室内の空気を循環させます。

操作手順

1. **連続暖房** または **連続循環** を押し、運転させたいモード項目を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

📝 ノート

- ・運転を停止したいときは **OFF** を選択します。
- ・🔧-1【室内循環】の設定が有効になっているときには、【室内循環】の風量が優先されます（詳しい操作は、p20、p21 をご覧ください）。

② タイマー 1・2

「暖房」または「循環」の24時間タイマー設定を行います（風量設定：切／弱／中／強）。

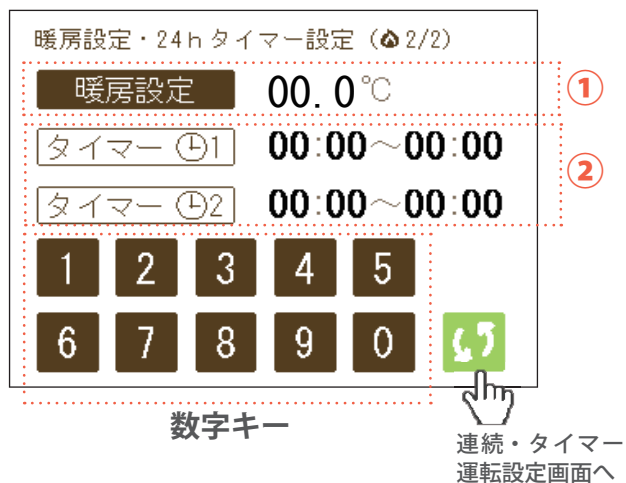
操作手順

1. **暖房** または **循環** を押し、運転させたいモード項目を表示させます。
2. 風量設定を選択すれば設定完了です。

📝 ノート

- ・タイマーを解除したいときは **OFF** を選択します。
- ・タイマー時間を設定しても、タイマー運転がOFFになっている場合は稼働しません。
- ・タイマーで設定した時間内に 🔧-1【室内循環】の設定または **連続暖房** **連続循環** が有効になっているときは、【室内循環】の風量が優先されます（詳しい操作は、p20、p21、当ページ①をご覧ください）。

④-2 暖房設定・24h タイマー設定



この画面では、補助暖房における設定温度およびタイマーにおける稼働時間の設定をします。

① 暖房設定

補助暖房における設定温度を設定します。この温度よりも室温が低い時に補助暖房を行います。設定範囲は、15.0°C～35.0°Cです(0.5°Cきざみ)。

操作手順

1. **暖房設定** を押します (文字が反転します)。
2. 設定したい温度を、**数字キー** で入力します。設定範囲外の温度は入力できません。
3. もう一度 **暖房設定** を押します (反転が解除され、設定完了です)。

② タイマー 1・2

暖房および循環運転の24時間タイマー運転を行う時間を、2通り設定できます。

操作手順

1. **タイマー** を押します (文字が反転します)。
2. 変更する数字の下にカーソルが表示されます。
3. **数字キー** で稼働させる時間を打ち込みます。
→ でカーソルを右移動させることができます。
4. もう一度 **タイマー** を押します (反転が解除され、設定完了です)。

📝 ノート

- タイマー設定時間は、00:00～23:59です。
- 設定範囲外の時間は入力できません。

📝 ノート

タイマー時間を設定しても、タイマー運転がOFFになっている場合は稼働しません (詳しい操作は、p30をご覧ください)。

第6章

操作手順例

リモコンを操作する

こんな時はどうしたら？（冬～春）

0M ソーラーの稼働時間を増やしたい

🔧-3

【設定棟温】を低め（例：25℃など）に設定します。

 ノート

- ・【設定棟温】を低くすると、運転パターン（p13）の「集熱取り込み」の運転時間が長くなります（高くすると、運転時間が短くなります）。

暖かくなってきたので「お湯採り」を優先させたい

🔧-1

【運転切替】で **冬** から **中間** にします。

 ノート

- ・「自動運転」のまま **中間** に変更した場合、その日だけ中間モードで動きます。翌日の朝5時の外気温を判定し、適切な季節モードに切り替わります。
- ・ **🔧-3** 【設定室温】を高くすると、室温が設定室温以上になるまで、運転パターン（p13）の「集熱お湯採り」をします。

梅雨入り前に、「集熱」した空気で床下換気したい

🔧-1

【運転切替】で **冬** にします。

 ノート

- ・「自動運転」のまま **冬** に変更した場合、その日だけ冬モードで動きます。翌日の朝5時の外気温を判定し、適切な季節モードに切り替わります。
- ・運転パターン（p13）の「集熱取り込み」「集熱お湯採り」をしていて室内が暑く感じられるときは、「運転切替」で **夏** にします。

こんな時はどうしたら？（夏）

室内の熱気を排気したい





【室内排気】の風量を（弱／中／強）より選択します。



【室内排気】の切タイマー時間を（15分 30分 45分 60分）より選択。

📝 ノート

- ・  【室内循環】を同時に運転させると、【室内循環】が優先されます。
- ・ 日中晴天のときは、「排気お湯採り」が優先となるため、 【室内排気】ができません。

冷えるので、夏の夜の外気取り入れは控えめにしたい



1. 【外気取入】の風量を（弱）に設定します。



2. モード選択の夏を選択し、【設定室温】を初期設定 23℃より高い室温（例：26～27℃）に変更します。

夏の夜、雨の日に湿った外気を取り入れたくない



雨が降りそうな日は、【外気取入】の OFF を選択します。

📝 ノート

- ・ 【外気取入】を OFF にすると、夜の放射冷却を利用した夏の夜の【外気取入】は運転しません。

こんな時はどうしたら？（室内循環）

1時間だけ室内の空気を循環させたい（切タイマーを利用）



【室内循環】の風量を（弱／中／強）より選択します。



【室内循環】の切タイマー時間設定の **1h** を選択します。



ノート
運転パターン（p13）の「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」の運転をしているときには、**1**【室内循環】は作動しません。

3時間くらい室内の空気を循環させたい（連続循環を使用）



連続循環 を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。

3時間が経過後、**OFF** を選択し、**連続循環** を終了させます。



ノート
運転パターン（p13）の「集熱取り込み」「集熱お湯採り」「排気お湯採り」の運転をしているときには、**1**【連続循環】は作動しません。

- ・ **1**【室内排気】を同時に運転させると、【室内排気】が優先されます。

こんな時はどうしたら？（OM と連動する補助暖房）






補助暖房を今すぐ稼働させたい



連続暖房 を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。



連続暖房 の運転を終了したいときには、**OFF** を選択してください。

-  **連続切替** の季節モードが **夏** の場合には、 **連続暖房** の設定は稼働しません。
-  **室内循環** を同時に運転させないでください。
-  **室内排気** を同時に運転させないでください。
-  **暖房設定** の温度より室温が高い場合には、暖房ボイラーは稼働しません。

ある時間帯に補助暖房を毎日稼働させたい（24h タイマーを利用）






1. **暖房** を表示させ、風量を（弱／中／強）より選択します。



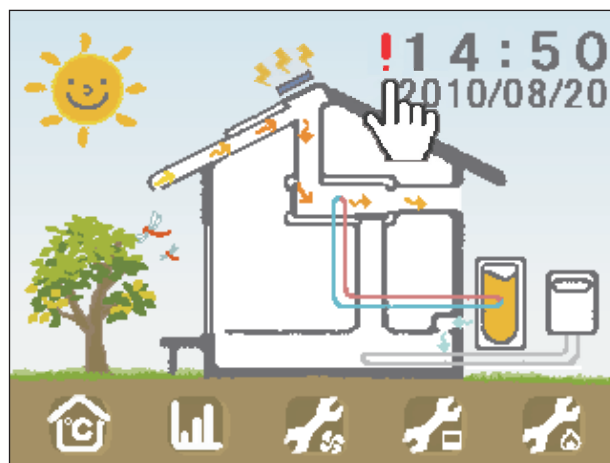
2. **タイマー** を押し、運転させたい時間帯を入力し、設定します。



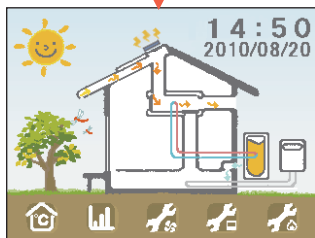
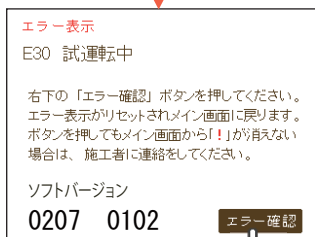
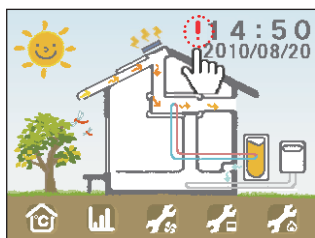
-  **連続暖房** の風量は **OFF** にしてください。
-  **タイマー①** と **タイマー②** の時間帯が重なっている場合には、**タイマー①** の風量が有効となります。
- タイマーを作動させたくない日は、 **連続暖房** の風量は **OFF** を選択してください。**OFF** と設定しても、タイマー入力した時間帯はそのまま保存されます。

第7章

エラー表示について





エラー表示



エラーが検知されると、メイン画面の時刻表示の左側に「！」マークが点灯します。「！」マークを押すと、エラー表示画面（左図）が表示されます。エラーの内容は、右表を参考に確認してください。

ノート

- ・「エラー確認」を押すと、元のメイン画面に戻ります。エラーの原因が改善されて解除されていれば、「！」マークは消えますが、エラーが改善されなければ「！」が引き続き点灯されます。
- ・エラーが発生している間は、リモコン下部にある  マークが赤色で点滅を続けます。
- ・OMソーラーが試運転中の時は、リモコン下部にある  マークが緑色で点滅を続けます（例：エラーコード：E30）。
- ・ソフトウェアバージョン No. は、改良ため予告なく変更される場合があります。

引き続き異常が継続している場合は、「！」マークはそのまま表示されます。

異常が解除されれば、「！」マークは表示されません。

ノート

複数のエラーが同時に発生している場合、一番最後に発生したエラーコードが表示されます。

エラー表示一覧

エラーコード	内容	対処方法
E01	リモコン通信エラー	施工者に連絡してください。
E02	棟温センサー断線	入口温度センサーに連動
E03	棟温センサー短絡	入口温度センサーに連動
E04	室温センサー断線	室温が -10℃以上で自動解除
E05	室温センサー短絡	室温が 60℃以下で自動解除
E06	外気温センサー断線	外気温が -10℃以上で自動解除
E07	外気温センサー短絡	外気温が 120℃以下で自動解除
E08	湯温センサー断線	湯温が -10℃以上で自動解除
E09	湯温センサー短絡	湯温が 120℃以下で自動解除
E10	入口温度センサー断線	入口温度が -10℃以上で自動解除
E11	入口温度センサー短絡	入口温度が 120℃以下で自動解除
E12	出口温度センサー断線	出口温度が -10℃以上で自動解除
E13	出口温度センサー短絡	出口温度が 120℃以下で自動解除
E14	小屋裏温度センサー断線	小屋裏温度が -10℃以上で自動解除
E15	小屋裏温度センサー短絡	小屋裏温度が 120℃以下で自動解除
E18	子機間通信エラー	施工者に連絡してください。
E20	棟温異常	棟温が 80℃以下で自動解除
E21	ファンモーター異常	施工者に連絡してください。
E30	試運転中	施工者に連絡してください。
E39	フィルターサイン	リモコンで確認後、自動解除
E97 ~ E99	制御基板異常	施工者に連絡してください。

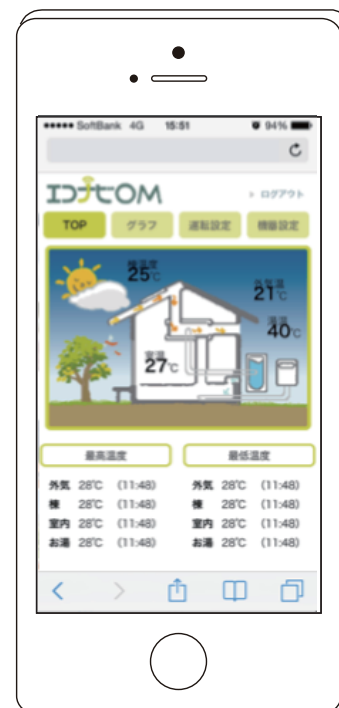
第8章

Web(エコナビOM)による操作

エコナビOM「操作と連携」

<http://econaviom.net>

- エコナビOMリモコンによる操作方法「取扱説明書」
- OM Solar Lite による操作方法「取扱説明書」



エコナビ OM リモコンへの接続

エコナビ OM 専用の機器を設置する事で、Web 経由（エコナビ OM）でタッチパネルリモコンと同様の OM ソーラーの操作を行うことができます。

※インターネット環境が整っている事が条件になります。

● エコナビ OM 初期登録作業

お客様の登録をします。

エコナビゲートウェイの裏にある「製造番号」とお客様の情報を、「エコナビ OM」サイトにある「エコナビ OM リモコン 初期登録画面」から入力します。

「登録画面」

エコナビ OM <http://econaviom.net>

→ 「操作と連携」

→ 「エコナビ OM リモコン 初期登録」

<注意事項>

- お客様のメールアドレスがログイン ID となります。（後ほど変更可能です）
- 登録されたメールアドレス宛に後ほどパスワードを送ります。
※即時発行ではないため、お急ぎの場合はご連絡ください。
- エコナビゲートウェイがインターネットに接続されていなくても初期登録は可能です。（パスワード発行も可能です）



● エコナビ OM の設定画面へのアクセス（エコナビ OM WEB サイトから）

すでに初期登録されているお宅では、エコナビ OM 経由でお客様のエコナビゲートウェイにアクセスすることができます。

1. パソコンやスマートフォンから、「エコナビ OM」にアクセスします。
2. サイト右上の「操作と連携」を選択します。
3. 次に、「エコナビ OM リモコン」を選択します。
4. 発行されたお客様専用の「ログイン ID（メールアドレス）」と「パスワード」を入力します。

初期登録で発行

- ログイン ID（メールアドレス）
- パスワード

※モバイルだけでなくパソコン、タブレット等からも操作できます。

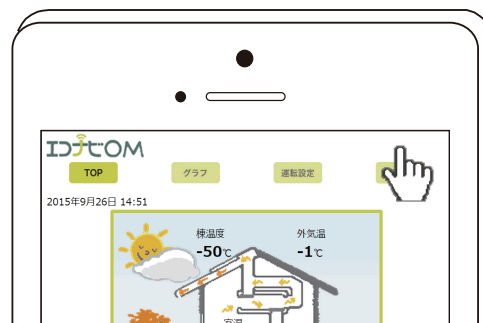
5. エコナビ OM の TOP 画面が表示され、OM X の設定が可能になります。

エコナビOMにおける操作方法

「エコナビOM」上におけるOMソーラーの操作は、タッチパネルリモコンと同じです。各ボタンや設定は、本書の第3章および第5章に準じています。

詳しい操作方法については、「エコナビOM」の **操作と連携** より、取扱説明書をダウンロードをしてご確認ください。

※ Web 経由における操作の設定値反映には、若干のタイムラグが発生します。



故障かな？と思ったら

症状	ここを確認してください	関連ページ
自動運転のとき、 季節判断がおかしい	自動運転の季節判断は、毎朝5時の外気温から季節判定を行っております。気象条件により、季節判断がご希望の季節モードと異なることがあります。必要に応じて季節モードを変更してください。	20
冬・中間のとき、 室内が暑すぎる	設定室温が高いかもしれません。設定室温を低くすれば、より低い室温で「排気お湯採り」に切り替えます。	22-23
冬・中間のとき、 室内が寒い	設定室温が低いかもしれません。設定室温を高くすれば、より高い室温まで室内に空気を取り込みます。	22-23
夏の夜、 「外気取り入れ」 が動き始めない	外気取り入れ時間帯は20:00～5:00です。	22-23
	まだ、外気温が高いかもしれません。夏の夜の「外気取り入れ」の開始条件〈外気温が「室温-1℃」より低いこと〉がそろっているか確認してください。	22-23
	設定室温が高すぎませんか。設定室温よりも現在の室温が低ければ、稼働しません。	22-23
	「運転設定」画面の「外気取入」が「OFF」になっていませんか。運転したいときは「弱／中／強」に切り替えます。	20
お湯採りができない	季節モード「冬」及び「中間」で、設定室温が高くなっていませんか。冬モードで設定室温または、中間モードで「設定室温-10℃」より室温が低い場合はお湯採りは稼働しません。	22-23
	OM側でお湯採り信号を送っている状態でも貯湯槽の制御で集熱空気と貯湯槽内の水の温度差が7～9℃以上ないと、運転しないことがあります。（貯湯槽の機種によって異なります。）	22-23
冬・中間のとき、 室内循環をさせたいのに 暖房が稼働する	「室内循環」運転（オフタイマー）と連続暖房、タイマー暖房が同時に設定されている場合、風量は「室内循環」運転（オフタイマー）の風量が優先され、暖房ボイラー稼働します。（室温が暖房設定温度以下の場合）暖房ボイラーを稼働させたくない場合は、連続暖房及びタイマー暖房を「OFF」にしてください。「連続循環」を稼働させる場合も、タイマー暖房を「OFF」にしてください。	30-31
E39フィルターサイン が出る	フィルターの目詰まりを防ぐために定期的にフィルターの掃除を行なってください。	40-41

基本仕様

型式	小型		中型	
	OMD-05C2	OMD-05N2	OMD-12C2	OMD-12N2
熱交換コイル	あり	なし	あり	なし
寸法(mm)	502 (幅) × 435 (高さ) × 1089 (長さ)		551 (幅) × 485 (高さ) × 1,298 (長さ)	
重量(kg)	30	27	45	41
最高風量	8m ³ /min		12m ³ /min	
外装	アルミニウム合金亜鉛鋼板			
保温	硬質発泡断熱材			
電源	専用太陽電池もしくは商用電源 (AC100V)			
消費電力 (商用電力利用時)	42W	38W	96W	110W
使用条件	環境	場所：屋内 周囲温度：-10～45℃、相対湿度：90%以下 (結露なきこと)		
	流体	集熱空気温度：90℃以下 熱交換コイル熱媒：不凍液 (-10℃～80℃、結露なきこと)		
リモコン	寸法(mm)	120 (縦) × 120 (横) × 24 (厚さ)		
	電源	DC12V (制御ユニットから供給)		
太陽電池	種類	単結晶系太陽電池		
	寸法(mm)	355 (幅) × 1,155 (長さ) × 35 (厚さ)		
	重量(kg)	5.2		
	最大出力	55W		
	開放電圧	25.6V		
	短絡電流	2.94A		
	材質	枠：アルミ、表面：白板強化ガラス		

本仕様は、改善のため、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。



自立運転型ハンドリング操作説明書
2018年9月1日

発行 OMソーラー株式会社
〒431-1207
静岡県浜松市西区村櫛町4601
TEL. 053-488-1700 (代)
<http://omsolar.jp>

※本印刷物の無断複写・複製等を禁じます。

お客さまとOMソーラーを繋ぐ窓口
「OM class」へのご登録はこちら



<http://omclass.net>